



平成最後の かぼちゃの重さ当てクイズ

昨年10月に、かぼちゃ2つを合わせて何グラム？クイズを致しました。
 大小のかぼちゃの重さは合わせて4197グラムでした。
 たくさんの方にご応募頂き有難うございました。
 上位5名の方にお菓子をお送り致しました♡



受付:西山

ハロウィンの由来はケルト人の収穫祭が起原でこのお祭り自体の風習は古代中央アジアからヨーロッパにかけて栄えたケルト民族の秋の収穫祭から始まったものとされています。
 当時のケルト人の1年の終わりは10月31日で、冬が始まる11月1日が新年を迎える日となっており10月31日には新年の前夜祭として、その年の収穫を祝うとともに死者の霊が家族を訪ねてくる日と信じられていました。しかし、家族の死者の霊の他に災いをもたらす悪霊や魔女なども訪れると考えられておりこれらを追い払う魔除けの儀式も含めた宗教的な行事だったようです。そしてその、悪霊を追い払う手段として仮装や魔除けの焚き火を行っていたことが、現在の仮装やかぼちゃのランタンの由来になったといわれています。

※簡単にまとめると、大晦日の日にお盆のような意味合いの行事をしていて、魔除けのために仮装をし現在ではお祭り騒ぎのようになっている感じですね(*^_^*)
 今年もかぼちゃの重さ当てクイズ！
 楽しみにしていて下さいね♡



親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

Tel 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2019
冬
vol.31



院長ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

私ごとで恐縮なのですが、今年なんと還暦を迎えます。
 最近、物忘れは酷くなり、心身ともに衰えを感じる今日この頃です。
 気持ちは36歳でずっと突っ走ってきたものの、歳には勝てない？
 いやいや、何事もポジティブ思考で取り組もう。
 人生の節目の年なのだから、何か楽しい面白いことをしたい。
 ということで、今秋に医院交流会の当番幹事をさせて頂くことに致しました。



院長 梶川大介

医院交流会とは、スタッフが輝きチーム一丸となって患者さんのために医院・医療の質を高めるための交流型セミナーです。今まで訪れたどの医院も本当に素晴らしい。医院見学では、その職場の空気感を体感し、研修で学び、気づき、互いに高め合うことが出来るのです。貴重なお時間を使って参加して下さい先生やスタッフのために「来て良かった」「これ真似してやってみよう」と思ってもらえるチーム梶川らしいイベントにしたいと考えています。

ディズニープロジェクト（心のこもった眼科医療を目指しています）の取り組みで成長と進化中のチーム梶川は、伸びしろいっぱい。秋に向けてチーム梶川は、さらに患者さんに喜んで頂き、そしてお役にたてるよう精進して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、2019年が皆様にとって笑顔で幸せに満ちた年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

コラム数珠つなぎ

今回は、受付・西山がお届けします！

去年の10月27日に長女が結婚式を挙げました。

当日は泣かないと決めたのに、娘と過ごした26年間への思いが込み上げ、まるで自分の中から全てが抜け落ち空っぽになってしまったかのような哀しみでボロボロと涙が溢れてきました。

ふと思いました…。今まで私たち夫婦が娘を支えていたのではなく、たくさん娘に支えてもらい成長させてもらっていたのかと気付きました。娘に今まで有難う、そして本当におめでとう！幸せになってほしいと心から思いました！
 今年の6月には家族が増える予定です。
 今年の私は娘が住む大阪に行くことが楽しみになっていることでしょう☆☆イエー！！です。



NEW

新しい機器の紹介

この度、コントラスト感度を測定する機器を新しく導入致しました。
 コントラスト感度とは、はっきりとした輪郭を持たず、濃淡のはっきりしない模様を識別できる能力のことです。

コントラスト感度を測定することで、従来の視力検査だけでは評価が困難と言われている日常生活における見え方の質「視覚の質」を数値にして表すことが出来るようになりました。白内障があるとコントラスト感度が低下すると言われており、その検査結果を参考にして白内障手術の適応や白内障の術前・術後の見え方の説明に役立てられます。





第6回ふれあいフェアを開催しました

平成30年10月18日（木）に毎年恒例のふれあいフェアが開催されました。

今年で6回目を迎えたふれあいフェア。

今年も、患者さん、スタッフみんなが笑顔になれるイベントにしたいと取り組みました。

まずは院長の健康講座「白内障」。真剣な顔でうなずいておられる姿がとても印象的でした。
日頃の疑問が解消された？のではないのでしょうか。

次に診療スタッフ全員によるイベント「気持ちを合わせて大きな声で言ってみようゲーム」。
これまでとは少し違った試みでドキドキでしたが、患者さんスタッフみんなで楽しむことができ
大成功だった？と思います。

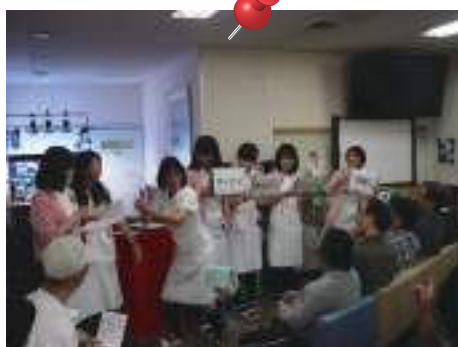
最後に「かじかわ亭寄席」。出演者は、桂あおばさん、桂三度さん。
医院の待ち合いが一瞬にして寄席に早変わり。この時間を楽しみに毎年来てくださる患者さんも
大勢おられます。ふれあいフェアの目玉イベント。爆笑、爆笑、大爆笑であっという間に終わって
しまいました。参加していただいた皆様ありがとうございました。



会場全員が、院長の白内障のお話を
真剣に聞かれていました。



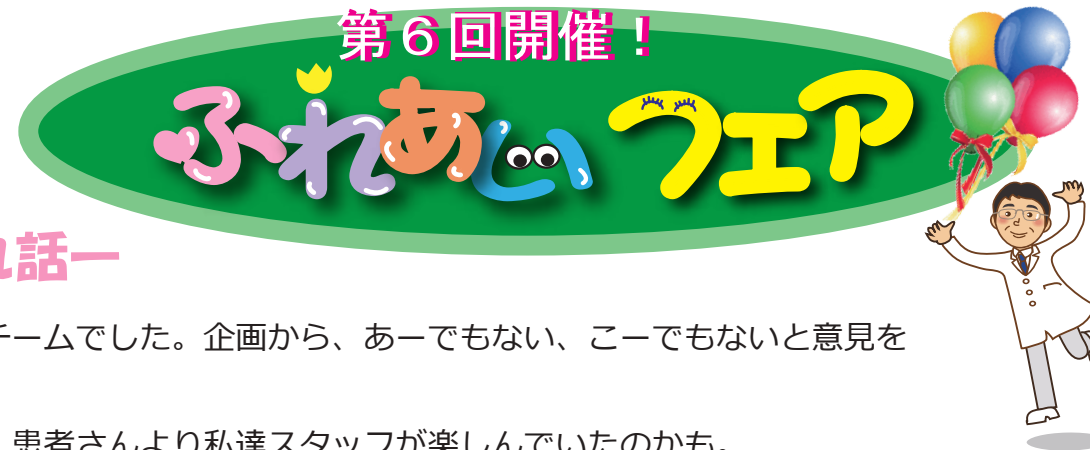
年代差関係なく、楽しみながら答えやすく
会場全員で参加して頂けました！！



診療スタッフからのクイズです。
全員参加型のジェスチャー付きの
ヒントで皆さん和んでいました～(笑)。



昨年は診療スタッフでのクイズでした
(^^♪大盛り上がりでしたヨ！！



ーふれあいこぼれ話ー

今年のイベント担当は診療チームでした。企画から、あーでもない、こーでもないと意見を
出し合い作り上げました。

簡単な連想ゲームでしたが、患者さんより私達スタッフが楽しんでいたのかも。

それでは「ふれあいフェア」終了後の井戸端会議の様子をほんの少し紹介したいと思います。

診療みんなでしようって決めた時はノープランやったね

楽しそーって思った！

みんなでするのもいいなと思った！

なんだかんだ言いながら
ゲームの形ができていて、わくわくした！

ヒントを出して答えを連想してもらうゲーム。
単純やけど面白そうって思った！

お題が出すぎてしぼるのに困ったわ！

ウケをねらって考えたしねー

簡単すぎず難しすぎないお題とヒント

なんとかなるかって練習して・・・

グダグダであかん!! って（笑）

患者さんの反応が不安になったー

本番はなかなか良かったよね？

とにかく恥ずかしかった

練習の時と全然違う“フリ”して困らせたー

そー、そー。答えが「梶川眼科」のヒントで
「先生男前」を出す時プレッシャーあった（笑）

・・・（ニヤリ）（全員）

まだまだ続く井戸端会議、このあたりで失礼します。